

科目区分：人間科学科目

授業科目名	生体の機能（感覚から脳へ）				学期	曜日	校時
英語名	Functional Physiology (Brain and Sensory)						
担当 教官名	澄川 耕二 高橋晴雄 北岡 隆	単位数	2単位	必修 選択	選択	後期 月曜日	校時
授業のねらい・内容・方法							
人は、「見る」「聞く」「痛い」などの感覚を通して、外界からの情報を得ている。本授業では、そういった感覚を受け取れる感覚器の「しくみ」と「働き」をわかりやすく解説し、最終的にその感覚を統合する脳との関係にもふれる。また、そういった感覚が失われたときはの障害による影響 - ハンディキャップ - の対策や、過剰な感覚 - 痛み - が及ぼす影響へのケアについても解説する。							
テキスト、教材等							
教科書は用いず、授業計画に沿ったプリントや資料を配布する。参考文献は適宜紹介する。							
対象学生	成績評価の方法			教官研究室			
全学部	定期試験、レポート、出席状況等を考慮して行う。						
授 業 計 画							
第1回	人はどのように音や言葉を聞くか？						
第2回	聞こえが悪いと何が起こるか？						
第3回	体のバランスとその障害						
第4回	におい、味が無くなると人はどうなるのか？						
第5回	眼のしくみと働き（1） - 目はカメラに似ている。コンタクトレンズ使っても大丈夫？ -						
第6回	眼のしくみと働き（2） - 目にもカメラと同じフィルムがある -						
第7回	眼と障害 - 見えなくなる病気はやっぱり恐ろしい -						
第8回	ロービジョン - 眼のハンディキャップ - どうしたらより良い日常生活が送れるか？						
第9回	痛みの心理学的側面						
第10回	痛みを感じる神経系のしくみ						
第11回	痛みを和らげる治療する方法						
第12回	癌の痛みとターミナルケア						